

# 新型コロナウイルスに関する 神奈川県 の各種電話相談窓口のご紹介

## ● 感染の不安を感じたときには

<b>新型コロナウイルス 感染症専用ダイヤル</b>  ゼロコロナなし <b>0570-056774</b> 一部の IP 電話など 上記番号につながらない場合 <b>045-285-0536</b> ① 無休(24 時間) ②③④ 平日(9:00~17:00)	音声案内	① 感染の不安のある方、健康・医療に関すること COCOA・濃厚接触者に関する など
		② 協力金に関すること
		③ 営業時間短縮要請に関すること 大規模イベント開催の事前相談に関すること
		④ 経営相談に関すること

## ● 発熱したけれど、相談する係りつけ医がないときは

<b>発熱等診療予約センター受付窓口</b>  よやくじゅしん <b>0570-048914 (9:00~21:00)</b> 一部の IP 電話など上記番号につながらない場合 <b>045-285-1015</b>	【対象】 発熱・咳・咽頭通の いずれかの症状のある方
---	----------------------------------

## ● その他

☎ 生活総合支援窓口・新型コロナの影響により生活に困窮する方

Tel: 045-285-0647 (平日 / 9:00~17:00)

☎ 医療・福祉施設従事者専用こころの相談窓口

Tel: 045-821-7700 (平日 / 13:00~21:00)

☎ 妊産婦相談窓口・コロナ禍における心配や疑問はお気軽に

Tel: 0570-058-222 (月~土 / 10:00~16:00)

☎ 経営相談窓口

金融相談・神奈川県庁金融課 Tel: 045-210-5695

(月~金 / 8:30~12:00 / 13:00~17:15)

経営総合相談・(公財)神奈川県産業振興センター Tel: 045-633-5201

(平日 / 8:30~17:15)

☎ コロナ労働相談 110 番・コロナ禍による休業・解雇・雇い止めなど

Tel: 045-622-8110 (平日 / 8:30~17:15 ※12:00~13:00 除く)

(夜 / 17:15~19:30 ※火曜のみ) (日曜 / 9:00~17:00 ※12:00~13:00 除く)

アクティブ Vol.42

# ACTIVE

発行

おさだ進治事務所  
 海老名市大谷北 1-5-27  
 Tel: 046-236-0505  
 Fax: 046-236-0508  
 osada@osadashinji.com

2021年1月4日  <http://osadashinji.com> 神奈川県議会議員 **おさだ進治**

## 続くコロナ禍・菅総理に直談判

新型コロナウイルスの感染拡大防止に明け暮れた令和2年が終わりに、新しい年がやって来ました。改めて医療や介護の現場で働いて頂いている皆さんを始め、物流や食料供給など、人々の生活に欠かせない業務を担っていただいている皆様に心から感謝を申し上げます。あの横浜港にやって来たクルーズ船での集団感染以来、神奈川県は日本で初めての死者が出るなど、この問題については常に厳しい対応を迫られて来ました。そうした中でつくづく感じたのはやはり国難とも言えるこの状況下では、政府による主体的な対応が今以上に求められるということ。去る11月24日、私は首相官邸を訪ね菅総理に対して、医療現場の窮状等を訴えてまいりました。(写真手前)



## 賞賛されるべき海老名市の積極的な協力

海老名市長との対話の中で、神奈川県にとっては大変ありがたい提案を頂きました。それは県の保健所等コロナ対策の業務に対して「海老名市の保健師を派遣してもよい」というもの。私は早速この提案を神奈川県に伝え、県内で初めて保健師さんの派遣が実現し、現在では9つの市から保健師の方が県に派遣されています。新型コロナ対策の現場で働くことは市の保健師さんにとってはさぞかし大変なことだろうと思いますし、神奈川県としては本当に「感謝」すべきことです。他にも、海老名市医師会が主体となってPCR検査場を設置して下さったのも県下市町村でトップクラスの迅速さでした。更に海老名総合病院を運営する、社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスにおいては、使われていない病棟の一部で中等症の患者を受け入れる体制を整えてくださるなど、この問題に対する海老名市の皆さんの積極的な協力は本当に素晴らしいものだと思います。

## 市議団の皆様と県へ

小中学校の休業が解除され、児童生徒の登校が始まってから県内で最初に生徒の感染が確認されたのが海老名市内の学校でした。生徒の安全確保、プライバシーの保護など、初めての出来事でしたから、学校も保護者も市役所も連絡調整や現場対応に大変な思いをされました。そしてこの出来事について、県から市に対する情報提供は適切であったか？と、市議会の皆様から詳細な報告と共に改善すべき重要なご意見を頂きました。そこで早速皆さんと共に県庁へ行き、現場を担当するセクションに要望活動を行いました。(写真・武井、首藤副知事)





## 今改めて初心に帰り地元での活動に専念

自粛の続くコロナ禍の中で、私は地元海老名にいたる時間が増えました。そこで、改めて自分を県議会議員として選んで下さっている地域を見つめなおすことができました。

そうした日々の中で、例えば自治会の皆様から寄せられる道路の改善や、市議会の皆様から寄せられるコロナ対策の現場の声、あるいは部活動最後の大会に出場できない中学生の思いなどに触れ、そうしたことの一つ一つに今まで以上に丁寧に向き合う日々を送ることができました。これからもこの思いを大切に、地元のために努力精進してまいります。コロナの危機はまだまだ道半ば。一緒にこの困難を乗り越えて行きましょう。以下、地域の皆様から寄せられたご意見に対する対応や、市内における県の事業についてお知らせします。



### 県道の改善

狭い歩道とそれをふさぐ電柱について自治会からの要望。県土木事務所と改善に向けた調整を行っています。



### 昨年の台風による爪あと

昨年の台風により冠水し大量の土砂が堆積してしまった県立相模三川公園の野球、ソフトボール場。早期の改修を県に求めて来ましたが、この夏までに土砂を入れ替える再整備が行われました。



### 特別支援学校付近で登校中の生徒の事故発生

県立えびな支援学校付近の交差点を横断していた生徒がトラックと接触する事故が発生しました。幸い生徒は軽症で済みましたが、ぶつめたトラックは走り去り、いまだ見つかりません。交差点の形状に問題は無いが現場に立ってよく検証すると共に、学校との対話の中で、通学路の見守り活動や安全指導について工夫して頂くようお願いしました。



### 多頭飼育崩壊

ペットなど、動物の保護、愛護に関わる業務は県の仕事です。こここのところ市内でもペットの多頭飼育崩壊の問題が発生しています。所管する保健所がコロナ対策で忙殺している中ですが、こうした問題も見逃してしまうわけにはいきません。今回 140 頭を超える崩壊事案が発生し、それに対する県の体制が追い付かなかった現実も経験し、新年度に向けて県の体制と制度の強化を求めています。



### 水害時の避難所の広域化を要望

一昨年、神奈川一帯を襲った台風19号ではダムの緊急放流による相模川の氾濫の危険が高まりました。万が一ハザードマップに示された通りの冠水があった場合、海老名市内では避難すべき市民が5万人を超えると推定されています。しかしこれだけの人々を受け入れるだけの避難所はありません。こうした事態を想定し、他市との連携で避難所を確保するほか、県立高校など県有施設の活用、民間の立体駐車場を活用した車中避難への誘導など、県が広域的な観点から大規模水害時の避難所確保について、市町村との調整役を果たすべきだと考え、県に要請しています。



## 明るい話題 \ (^o^ ) /



### 海老名と厚木を結ぶ新橋が開通

海老名市の社家駅から相模川へ向かった先に、相模大堰という水道水の元となる水を取水する施設がありますが、この施設を利用して相模川を渡河する「人道橋」が開通致しました。すでに戸沢橋付近から海老名市の運動公園まで開通している「さがみグリーンライン自転車道」と接続していますので、天気の良い日などには快適な散歩が楽しめます。また厚木市内の高校に自転車を通う生徒などにとっても大変便利な環境が出来上がりました。



### 県立相模三川公園 自然観察園が開園

コロナ禍の中で、公園の利用が制限されている時期もありましたので、とても静かな開園となってしまいましたが、三川公園の南側に「自然観察園」が開園しました。これまで相模川に沿って広がっていた自然の林を生かし、遊歩道を整備したもので、四季折々の植生や野鳥などの観察が楽しめます。



## 令和3年「本郷寄席」「早春の集い」中止のお知らせ

毎年恒例となっております本郷寄席と早春の集いにつきましては、大変残念ながら中止とさせていただきます。また皆様とお目にかかることができる日が1日でも早くくるよう、これからも新型コロナ対策にしっかりと取り組んで参ります。